新しいクオリティへ、新しいスピードで。 『りそな』
HUMAN COMMUNICATION

2013年3月期 第2四半期
(2012年度 中間期)
決算ハイライト

2012年11月9日

りそなホールディングス
RESONA

Ⅰ. 2013年3月期 中間期の概要

（単位：億円）

■ HD連結中間純利益：1,756億円を計上 . . . Page1,2

⇒ 前年同期比474億円（＋37.0%）、予想比1,056億円（＋150.8%）増益

・税金費用等：前年同期比678億円減少

⇔ うち、税効果会計に係る会社例示区分の見直し影響：901億円

・税金等調整前中間純利益：前年同期比203億円（△13.1%）減益

⇔ 一過性の信託受益権配当の剥落（△134億円）、減損処理等に伴う株式関係損益の減益（△179億円）が主要因

⇔ 一方で、与信費用は前年同期比121億円改善

■ 実勢業務純益（銀行合算）：“実質”前年並み、予想比増益 . . . Page1,2,3,4

⇒ 前年同期比156億円（△11.2%）減益、予想比77億円（＋6.6%）増益

⇒ 一過性利益を除く比較では、前年同期比21億円（△1.5%）減益

・貸出金残高（HD連結）が増加基調へ転換（前年同期比約3,700億円増加）

・保険販売が堅調（販売額：前年同期比5割増）、投資商品残高を下支え

・債券関係損益が好調（前年同期比44億円増益）、業務粗利益を牽引

・物件費を中心に経費を抑制 ⇒ 前年同期比36億円減少（予想比37億円減少）

■ 財務基盤：健全性を維持 . . . Page5

・2012年9月末 不良債権比率（銀行合算）：2.30%、引き続き低水準を維持

・2012年9月末 その他有価証券評価差額（銀行合算）：1,119億円、含み益を確保

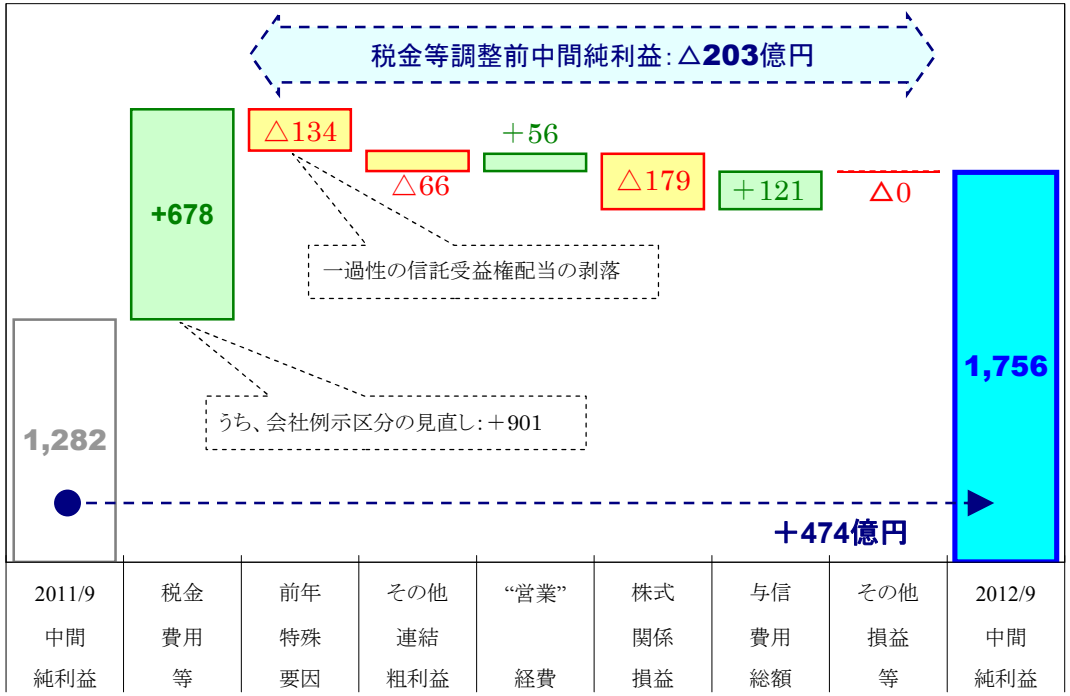
・2012年9月末 保有株式残高（銀行合算）※：3,197億円、HD連結Tier1対比17.8%

■ 自己資本比率：適切な水準を確保 . . . Page7

・2012年9月末 HD連結自己資本比率（速報値）：14.15%、Tier1比率（速報値）：10.33%

※ 取得原価ベース、規制対象外株式（子会社・関連会社株式・非上場株式）を除く

○ HD連結・中間純利益の前年同期比増減要因



HD《連結》	2012年9月期	前年同期比	予想比（2012年5月公表）
経常利益	1,350	△216	＋250
中間純利益	1,756	＋474	＋1,056

HD〈単体〉	2012年9月期	前年同期比	予想比（2012年5月公表）
営業利益	1,184	＋422	＋14
経常利益	1,187	＋425	＋17
中間純利益	1,187	＋425	＋17

	銀行合算〈単体〉【2012年9月期】	前年同期比	予想比（2012年5月公表）	りそな〈単体〉	前年同期比	予想比（2012年5月公表）	埼玉りそな	前年同期比	予想比（2012年5月公表）	近畿大阪〈単体〉	前年同期比	予想比（2012年5月公表）
業務粗利益	2,901	△193	＋41	1,930	△167	＋50	709	△20	△16	261	△5	＋6
経費	△1,663	＋36	＋37	△1,088	＋30	＋22	△378	△0	＋7	△197	＋5	＋8
実勢業務純益*1	1,237	△156	＋77	842	△136	＋72	331	△20	△9	63	＋0	＋13
経費率（信託勘定処理考慮）	57.3%	＋2.3%		56.3%	＋3.0%		53.2%	＋1.4%		75.6%	△0.5%	

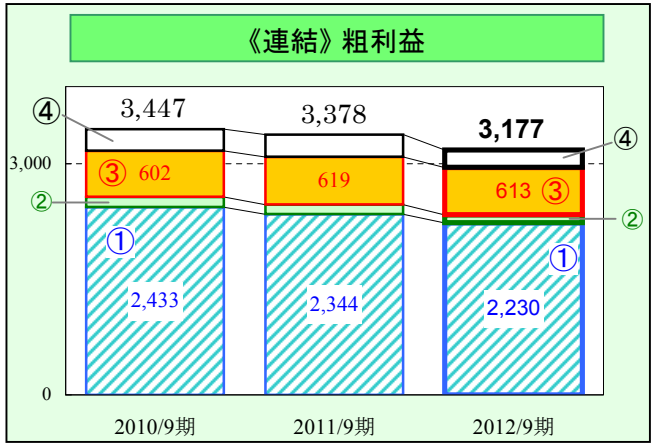
*1 実勢業務純益：信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

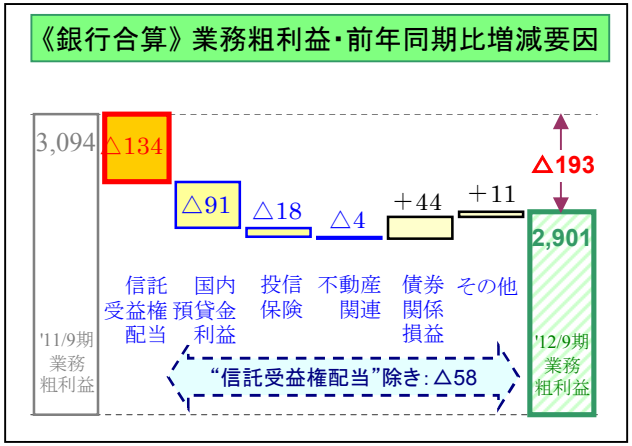
注1）：金額については単位未満を切捨て表示
注2）：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

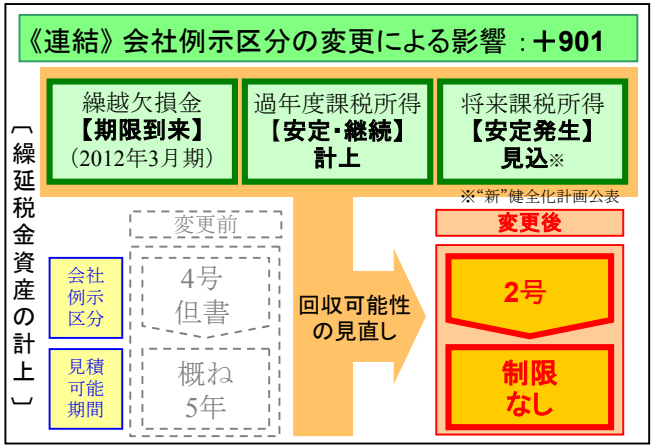
（単位：億円）

Ⅱ．2013年3月期 中間期の損益状況等

	HD《連結》 (A)	前年同期比	連単差 (A)－(B)	傘下銀行単体合算 (B)	前年同期比	うち りそな〈単体〉	うち 埼玉りそな	うち 近畿大阪〈単体〉	連単差(A)－(B)の内訳など〔概数〕
粗利益〔連結/業務〕	3,177	△201	＋276	2,901	△193	1,930	709	261	
① 資金利益	2,230	△113	＋46	2,184	△110	1,352	618	212	カード18他
うち国内預貸金利益				1,948	△91	1,220	534	194	預貸金利益：国内部門、銀行勘定、預金に譲渡性預金を含む
② 信託報酬	106	△16	△0	106	△16	106	—	—	
③ 役務取引等利益	613	△5	＋224	389	＋1	278	77	33	保証145、カード72、他
④ その他業務粗利益	226	△66	＋5	221	△68	192	13	14	
実勢業務純益				1,237	△156	842	331	63	(信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益)
“営業”経費	△1,758	＋56	△88	△1,669	＋48	△1,080	△385	△203	カード△58、保証△16、他
株式関係損益	△176	△179	＋2	△178	△182	△170	0	△8	
与信費用総額	53	＋121	△59	112	＋108	130	10	△28	保証△26、カード△17、他
その他損益等	51	△0	＋5	45	＋2	45	3	△3	
税引“前”中間純利益	1,347	△203	＋136	1,211	△215	854	339	17	
税金費用ほか	409	＋678	＋13	395	＋599	494	△90	△9	少数株主利益△12、HD他税金費用他26
税引後中間純利益	1,756	＋474	＋149	1,606	＋384	1,349	249	8	

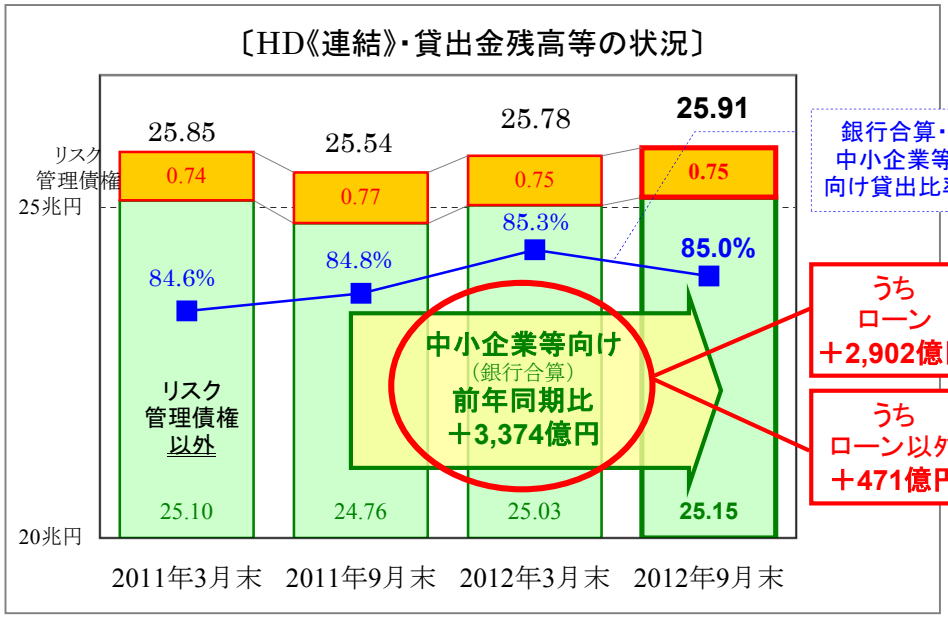


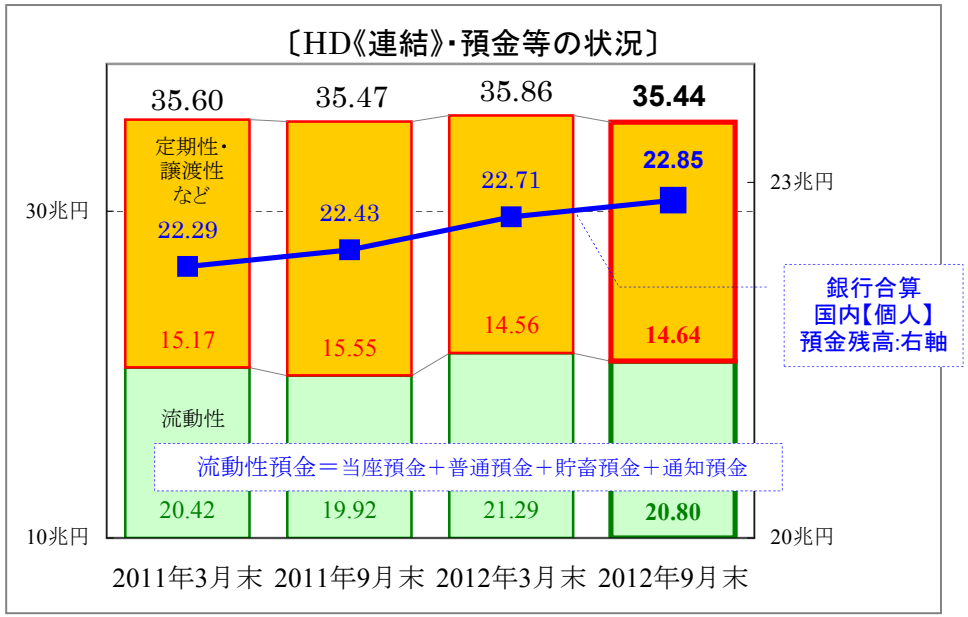


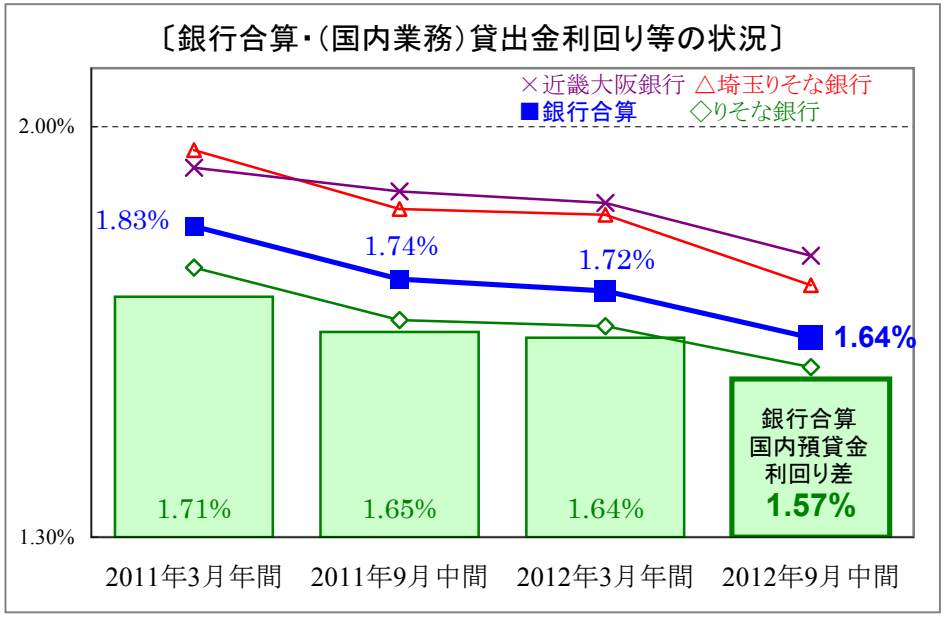


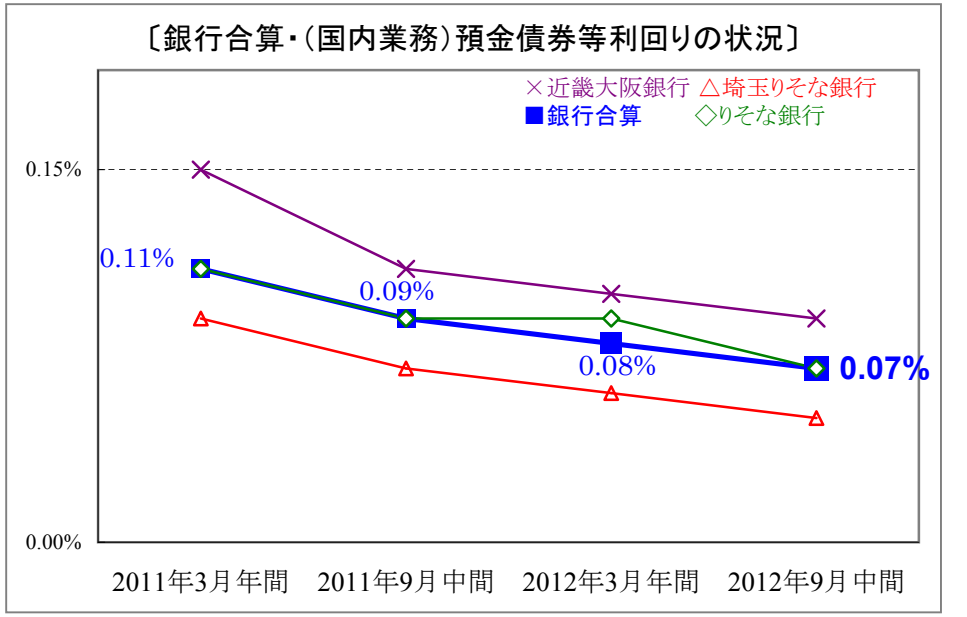
注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅲ. 預貸金の状況







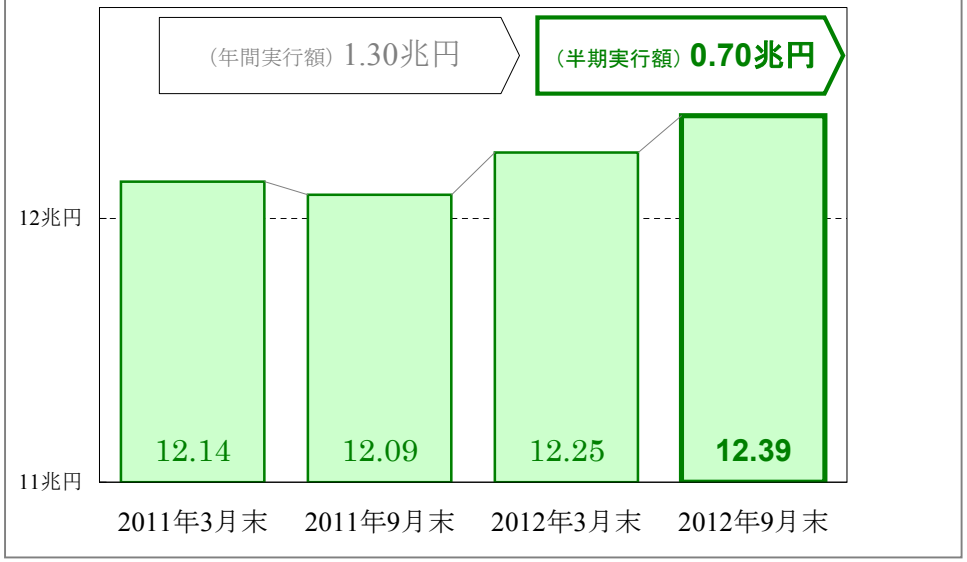


注1:金額については単位未満を切捨て表示
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅳ. 主要ビジネス ～Leading Field～ の状況

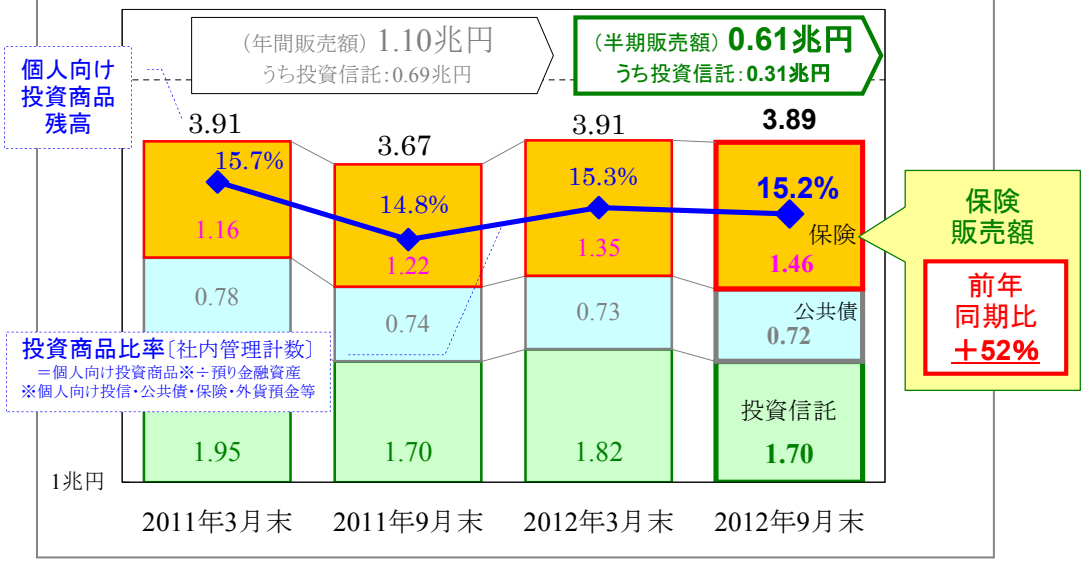
〔銀行合算・住宅ローンの状況〕

※一部、社内管理計数/実行額にフラット35を含む



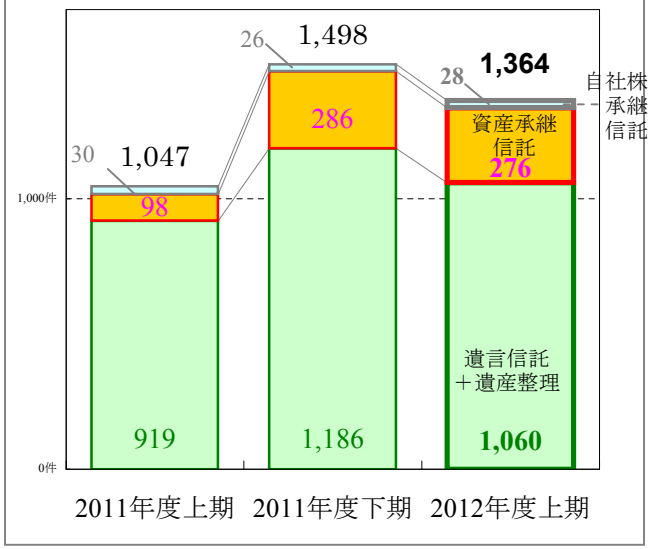
〔銀行合算・個人向け投資商品の状況〕

※ 一部、社内管理計数



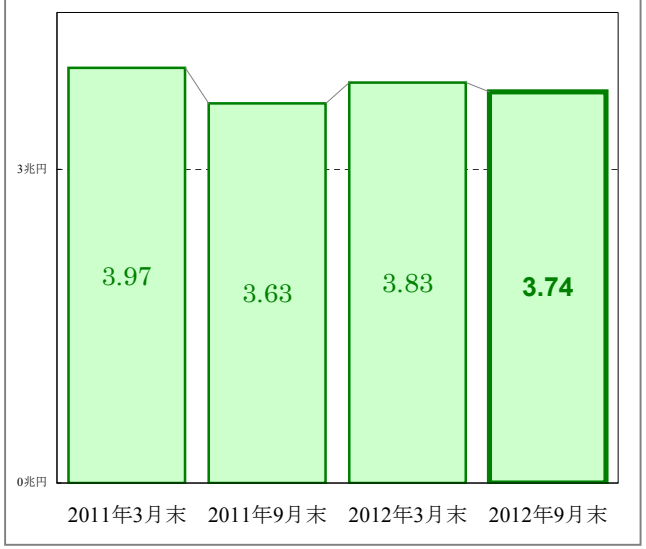
〔りそな銀行・資産承継ビジネス等※の状況〕

※ 社内管理の新規利用件数



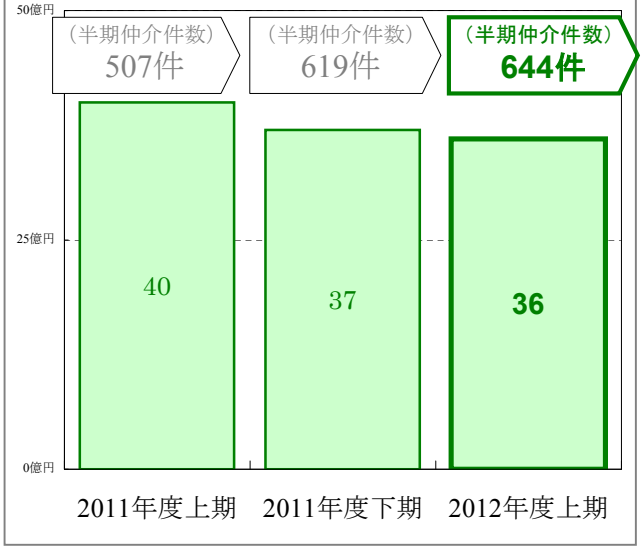
〔りそな銀行・企業年金受託残高※の状況〕

※ 社内管理残高



〔りそな銀行・不動産業務※の状況〕

※ 不動産ファンド出資関連を除く社内管理の収益計数

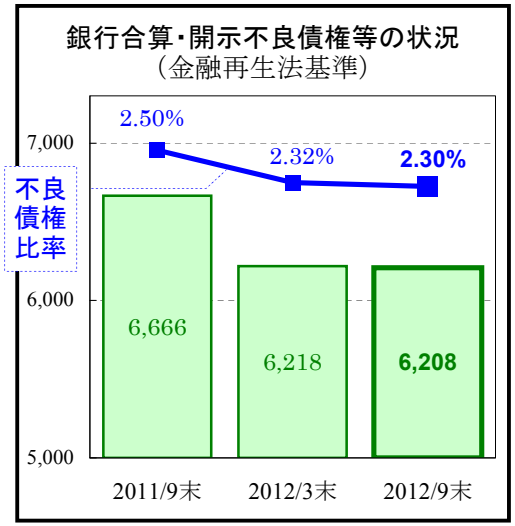


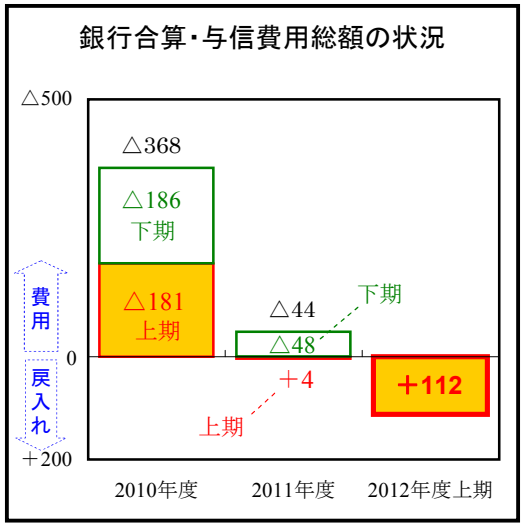
注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

（単位：億円）

Ⅴ．与信費用・開示不良債権の状況

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
信託勘定処理	0	0	—	—
一般貸引繰入額	204	144	47	12
個別貸引繰入額	△14	34	△26	△22
償却他処理額	△144	△105	△13	△25
償却債権取立益	67	56	3	7
与信費用総額	**112**	130	10	△28
① **新規発生**	**△282**	△196	△49	△36
② **区分改善**	**179**	166	10	1
③ **オフバランスなど**	**12**	16	2	△6
④ **一般貸引**	**204**	144	47	12





① 新規破綻・債務者区分劣化等の損失
② 債務者区分の改善に伴う引当金取崩等を合算
③ 破綻懸念先以下の債権回収に加えて、オフバランス等に伴う引当金取崩および償却債権取立益等を合算
④ 実質的な一般貸倒引当金の繰入・戻入をネットした影響等（一部、目的取崩等を考慮）

Ⅵ．有価証券の評価損益等の状況

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
破産更生債権等	686	452	132	101
危険債権	4,020	2,610	824	584
要管理債権	1,501	980	237	283
開示不良債権計	**6,208**	4,044	1,194	969
2012年3月末比	△10	△48	＋42	△4
不良債権比率※1	**2.30%**	2.26%	1.80%	3.90%
2012年3月末比	△0.01%	△0.03%	＋0.04%	△0.01%

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
満期保有目的	660	354	234	71
その他有価証券※3	**1,119**	624	464	30
2012年3月末比	△196	△180	△24	＋8
債券※4	**227**	67	135	24
うち 変動利付国債	△5	△6	1	0
株式	**921**	570	331	20
その他	**△30**	△13	△1	△14
株式残高（取得原価ベース）※2	3,197	2,520	631	45

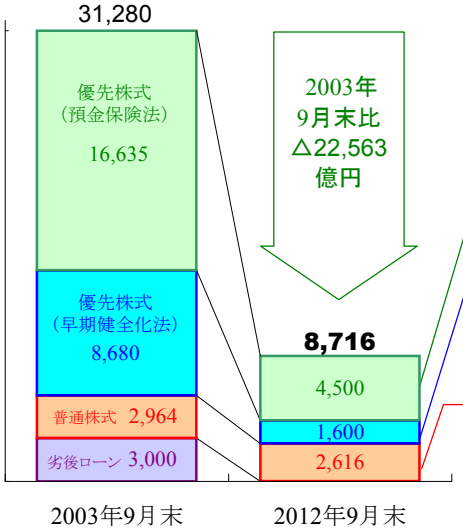
※1. 開示不良債権計÷金融再生法基準開示債権総合計（総与信）【銀信合算】
※2. 規制対象外株式（子会社・関連会社株式・非上場株式）を除いて算出しております。
※3. 時価のある有価証券のみを対象として記載しております。「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の一部が含まれております。
※4. その他有価証券の債券（うち国債）に含まれる変動利付国債の時価は、日本証券業協会より公表されている公社債店頭売買参考統計値を用いて算出しております。
なお、社内管理ベースの理論価格で試算した場合、評価差額は37億円となります。

注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

（単位：億円）

Ⅶ. 公的資金の状況等

	2003年9月末残高 ①	2012年9月末残高 ②	②－①	返済時期
公的資金合計	31,280	**8,716**	**△22,563**	
優先株式	25,315	6,100	△19,215	
早期健全化法	8,680	1,600	△7,080	
乙種	4,080	－	△4,080	2009.3 完済
丙種	600	600	－	
戊種	3,000	－	△3,000	2009.3 完済
己種	1,000	1,000	－	
預金保険法	16,635	4,500	△12,135	
第1種	5,500	－	△5,500	2011.3 完済
第2種	5,635	－	△5,635	2011.3 完済
第3種	5,500	4,500	△1,000	2011.3 一部返済
劣後ローン	3,000	－	△3,000	
金融安定化法	2,000	－	△2,000	2005.10 完済
早期健全化法	1,000	－	△1,000	2009.3 完済
普通株式	2,964	2,616	△347	2005.2ほか計3回 返済



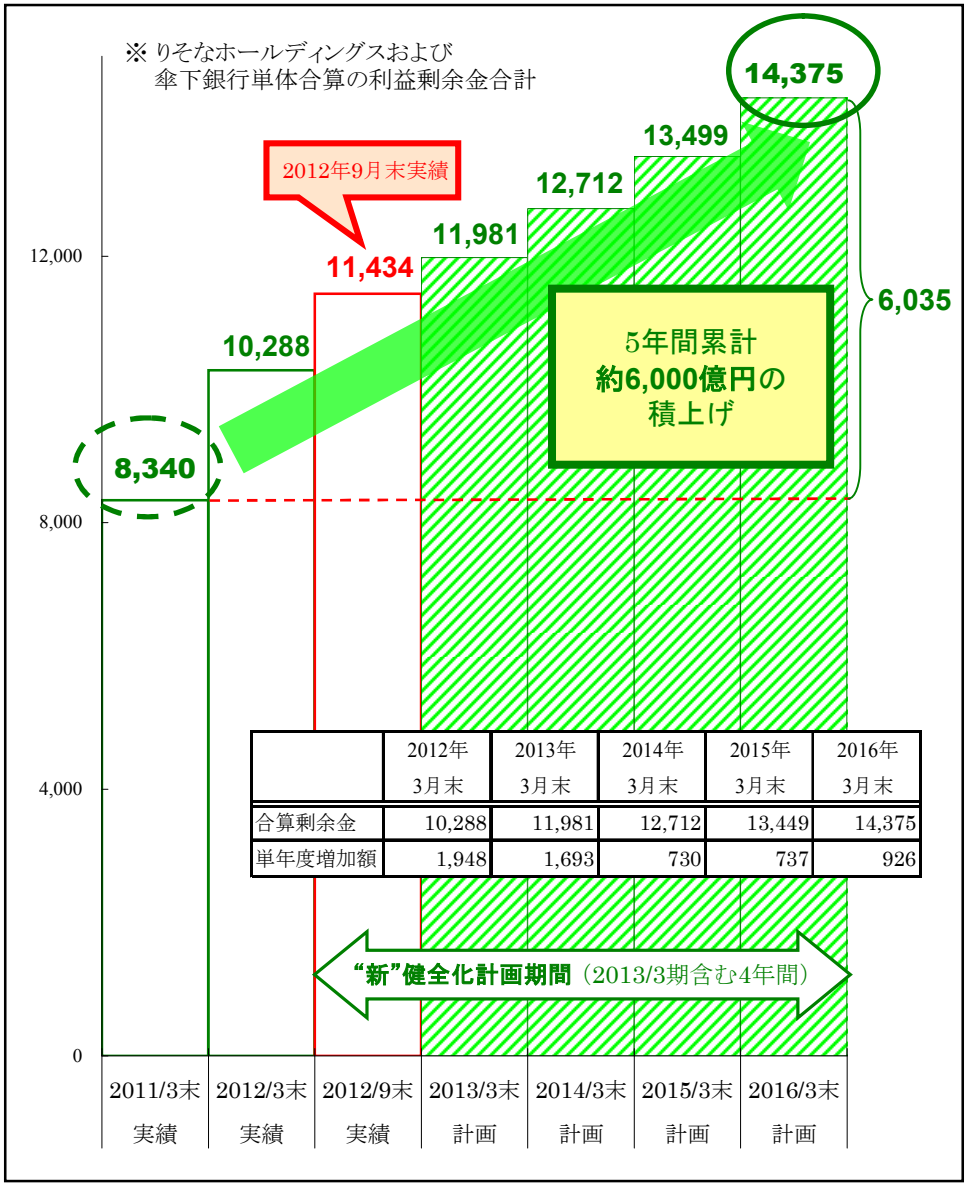
『今後の返済方針』

預金保険法優先株式 4,500億円
今後の利益蓄積により返済する予定
5年程度での完済を展望

早期健全化法優先株式 1,600億円
一斉取得となった場合に交付することとなる普通株式は既に自己株式として保有

預金保険法普通株式 2,616億円
預金保険法優先株式の返済を優先
当面、当社として売出しの申し出は
行わない予定

【参考】今後の合算利益剰余金※の積上げイメージ



	2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末
合算剰余金	10,288	11,981	12,712	13,449	14,375
単年度増加額	1,948	1,693	730	737	926

注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

（単位：億円）

Ⅷ. 自己資本比率の状況

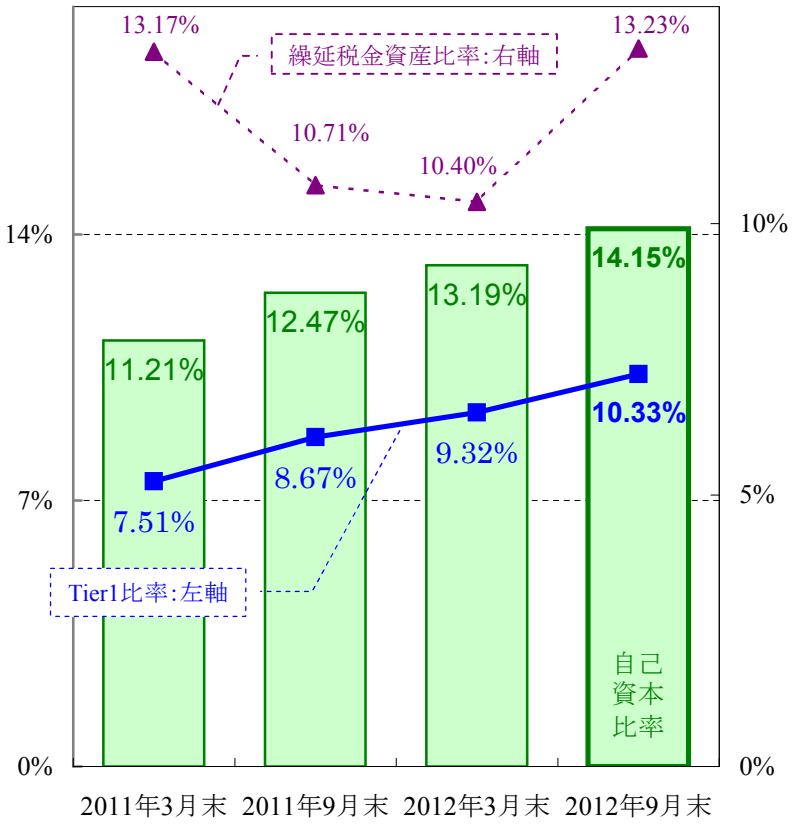
	2011年9月末	2012年3月末 ①	2012年9月末 ②	〔速報値〕 ②－①
HD連結・自己資本比率（第二基準）	12.47%	13.19%	**14.15%**	＋0.96%
Tier 1比率	8.67%	9.32%	10.33%	＋1.01%
繰延税金資産比率※1	10.71%	10.40%	13.23%	＋2.83%
HD連結・BIS自己資本額	22,088	23,014	24,532	＋1,518
うち Tier 1	15,366	16,270	17,905	＋1,634
HD連結・リスク・アセット等	177,064	174,421	173,267	△1,153
HD連結・総所要自己資本額※2	14,165	13,953	13,861	△92

【参考】

HD連結・自己資本比率（第一基準）	12.61%	13.50%	14.27%	＋0.77%
Tier 1比率	8.50%	9.15%	10.03%	＋0.88%

	りそな《連結》	埼玉りそな〈単体〉	近畿大阪《連結》
自己資本比率（国内基準）	**14.16%**	**13.01%**	**14.04%**
2012年3月末比	＋0.91%	＋0.54%	＋0.61%
Tier 1比率	10.33%	8.78%	9.41%
BIS自己資本額	17,597	4,482	1,772
2012年3月末比	＋1,150	＋86	＋13
うち Tier 1	12,833	3,024	1,188
リスク・アセット等	124,205	34,442	12,624
2012年3月末比	＋130	△798	△470
総所要自己資本額※2	9,936	2,755	1,009
2012年3月末比	＋10	△63	△37

【参考】HD連結・自己資本比率（第二基準）の推移



※1　繰延税金資産の純額÷Tier 1

※2　りそなホールディングス及び傘下銀行は国内基準行ですが、基礎的内部格付手法を採用しているため、総所要自己資本額は「リスク・アセット等×8%」により算出しております。

注1：金額については単位未満を切捨て表示

Ⅸ. 2013年3月期 通期の業績予想

（単位：億円）

	HD《連結》			
	（中間期実績）	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比
連結経常利益	1,350	**2,200**	—	△548
連結当期（中間）純利益	1,756	**2,300**	＋900	△236

	HD〈単体〉			
	（中間期実績）	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比
営業収益	1,219	**2,430**	—	＋847
営業利益	1,184	**2,350**	—	＋842
経常利益	1,187	**2,350**	—	＋839
当期（中間）純利益	1,187	**2,350**	—	＋839

期末自己資本比率見込	13%台後半

2013年3月期末普通配当予想※	12円
2013年3月期末優先配当予想※	所定の配当

※ 配当状況・予想の詳細については、「決算短信」表紙2.配当の状況をご覧下さい。

	銀行合算 【概数】				りそな			埼玉りそな			近畿大阪		
	（中間期実績）	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比
業務粗利益	2,901	**5,720**	△50	△266	3,810	—	△221	1,420	△40	△15	500	△5	△19
経費	△1,663	**△3,380**	＋10	＋8	△2,220	—	＋6	△765	＋5	△9	△400	＋5	＋5
実勢業務純益	1,237	**2,340**	△40	△257	1,590	—	△215	655	△35	△23	100	—	△14
経常利益	1,214	**1,980**	—	△461	1,360	—	△432	605	—	△11	15	—	△16
税引"前"当期（中間）純利益	1,211	**1,970**	—	△456	1,350	—	△434	600	—	△13	15	—	△14
税引後当期(中間)純利益	1,606	**2,150**	＋850	△244	（連結納税制度を採用しております）								
株式関係損益	△178	**△180**	△180	△202	△170	△170	△181	—	—	△9	△10	△10	△11
与信費用総額	112	**△200**	＋220	△156	△100	＋170	△160	△30	＋40	＋13	△70	＋10	△9

	《連結》	〈単体〉	《連結》
期末自己資本比率見込	12%台半ば	11%台後半	12%台後半

本資料中の将来に関する記述（将来情報）は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。
本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。
併せて、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌など各公表済の最新資料をご参照下さい。

注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示